

## 国際連語論学会第7回大会の報告と学会誌 『東アジア国際言語研究』第1号の原稿募集

国際連語論学会会長 王学群

会員の皆様におかれましてはご清祥のこととお喜びを申し上げます。

さて、国際連語論学会第7大会は、去る2019年2月17日(日)、18日(月)に東洋大学2号館16階スカイホールで盛大に開催されましたことをご報告いたします。

本大会は詳細なご講演とご発表及び話題提供と活発な質疑応答があり、盛会なうちに終わることができました。これもひとえにご講演とご発表、及び話題提供をしてくださった皆様方のお力添えによるものと思われまふ。ここに、2日間で多数の参加者があつたことをご報告申し上げますと同時に、ご講演・ご発表・ご来場くださった方々に厚くお礼を申し上げます。

また、2019年2月17日に開催されました拡大常務理事会と総会での審議と承認を経て、2019年4月1日より、学会名称は「東アジア国際言語学会」、学会誌名称は「東アジア国際言語研究」と変更することになりました。それをまず会員の皆様にご報告申し上げます。詳細については、後ほどホームページに掲載される『会報』第4号をご覧ください。

本学会の大会や月例会で発表された論文を主とする会員・非会員の皆様からのご投稿を査読の上で、学会誌として毎年1冊年末に出版することになっております。次号の学会誌『東アジア国際言語研究』第1号も査読の上で出版することとなります。締め切りは例年通りの**5月31日(金)**です。会員・非会員の皆様におかれましては奮ってご投稿くださいませよう、お願い申し上げます。執筆要領はホームページに掲載されている投稿規定のとおりですが、これから紙媒体だけでなく、電子化もいたし、広く一般に公開いたします。この点についてご協力のほどよろしくお願い申し上げます。